

俳句誌の発行をしておりますので、毎月2000句ほどを目にしていますが、今の俳句の風潮として笑わせる句は少なく、皆さん笑われない句をもっぱら作っておられます。しかし、多数の句の中には笑えるものもあります。ここ3年間の投句の中から選びましたから、72000句の中から搜した滑稽句です。私が見つけたというよりも、私が選をした滑稽句として紹介してみたいと思います。なお、ご本人の意思とは異なる紹介のされ方になるかも知れませんが、お名前は出さないことにします。

鮫鯨によく似た友と茶碗酒

女性の句です。お友達も女性。どんなお顔の友なのか。

老人が洋梨食べて用なしと

洋梨と用なしを言い掛けたのですが駄洒落もありです。

冬扇を広げてリコール運動を

冬扇は当選です。2月の名古屋のリコール投票です。

初夢に出でしお迎え追い返し

あの世からの阿弥陀様のお迎えを追い返しました。

孤独にとりたき雀蛤に

72候の長い季語を短縮して面白く仕立てています。

煙草とは窓とも書く夜長し

悪者にされているタバコも草冠に良いなのです。

心頭を滅却すれどこの暑さ

名高い快川和尚の偈のもじりで昨年の猛暑のことです。

予報士は涼しき顔で酷暑言ふ

これも昨年の猛暑。テレビ局は冷房で涼しいのでしょうか。

啓蟄や家の下なる活断層

啓蟄ですから地震の前に作られた句です。

春愁や食後の薬食べる程

高齢になると皆さん山ほど薬を飲んでおられます。

枯草や礎石凸凸なる廃寺

凸凸はでこでこと読みます。記号のような字が滑稽です。

住所不定年齢不詳雪女

ニュースでお馴染みの言葉と雪女に適用されました。

父の日のなんとも胡散臭きとも

父の日なんて百貨店の商売で言っているだけです。

活断層起さぬように蓮根掘る

これも地震の前の句。大げさな表現が上出来の句です。

雑炊をリゾットと呼ぶ孫娘

リゾットを雑炊と言いたい高齢者の気持ちを言っています。

すぐそこと教えて呉れし畑打女

この人だけバスに乗らず近いと聞き遠距離を歩きました。

黍なるや吉備なるやと団子食ふ

吉備津彦命 = 桃太郎 = 黍団子、という連想です。